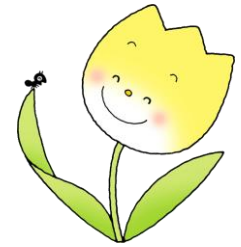


# 令和元年度 評価報告書

先日は、保育園に関するアンケートのご協力ありがとうございました。  
本園保育士の自己評価とあわせて、結果報告をさせていただきます。  
本園の現状をご理解していただく参考になれば幸いです。  
今後とも結果を基に、より良い保育を行うように努めて参ります。

## 1. 本園の保育方針

- ・ 一人ひとりの子どもが安心して園生活を送れるように信頼関係を築く。
- ・ 自立に向けた育児を。
- ・ 伝承文化を活かした保育。
- ・ 楽しい食事で健康に。
- ・ 保護者と園が力を合わせる子育て。
- ・ のびのびと遊べる環境作り。



## 2. 保育目標

- ・ 子どもを尊重し、保護者と共に力を合わせて心身共に健康で、やさしく思いやりがあり自分で行動できる子どもに育てる。

## 3. 重点的に取り組む目標、計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、職員自らが客観的に自己、自園を見る目を養い、保育内容の確認、資質向上に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

- ・ 保育計画と内容…保育方針に沿った年間指導計画を作成し、子どもの発達段階にあった内容になるようにクラスごとに保育指導案を作成し、月末に反省と共に評価を行い、保育に活かせるようにしている。また、0・1・2歳児は、保育所保育指針に基づき個別計画を作成している。
- ・ 保育のあり方、子どもへの対応…一人ひとりの子どものよさを認め、保育士が客観的に子どもを見る目を養い、発達に応じた援助に努める。肯定的な声掛けを行うことで子どもの自己肯定感を高める。  
子どもが示す様々な欲求に適切に対応し信頼関係を築く。子どもに強制するのではなく子ども自らが気づき活動できる。
- ・ 環境構成… 保育室、園庭の遊具が安全かつ清潔であるように毎月点検表に基づいた点検をし、必要に応じて清掃、修繕、補修を行っている。また、子どもが安定して遊び、興味関心、創造性を育む環境構成を心掛けている。  
研修・資質向上… 臨床心理士と共に子どもの発達についての園内研修を年10回ほど実施し、一人ひとりの子どもに合った援助に繋げている。園外の研修参加、園内研修等を行い、専門性を高めると共に研修内容を総括し、全ての職員が研修内容を理解し、自己課題の分析、保育技術の向上に努めている。  
園児個別に関する指導援助については必要に応じ、クラス単位で勉強会を開催した。  
保護者への対応… 保護者と連携を取り、必要に応じて相談等を行い子どもの成長を共に考え見守る様に努めている。  
保護者からの意見や相談に誠意を持って対応するよう心がけている。苦情については「第三者委員会」を設置し、張り紙などで告知し、常時、利用できるように努めている。

## 5. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達一人ひとりが、より良い環境の中で安定した保育を受けられるように保育計画や保育記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価する。

今年度、評価した結果に基づき、職員一人ひとりが、園内外の研修などを通じ資質及び専門性の向上を図り努めていきたいと思ひます。また、遊びの重要性を保護者へも十分に理解していただけるように保護者会などを通じ伝えていく機会を作りたいと思ひます。

## 6. 今後の目標、課題

子どもの発達段階に応じた指導援助が出来るように保育士は自らの保育や、一人ひとりの子どもの成長をとらえる視点を持ち、より良い保育を目指し、現在の状況に満足することなく、研修参加等、自己研鑽に努める姿が見られました。

今後も職員一同、より一層努力していきたいと思ひます。

保護者アンケートを行うことで、保護者の満足度、求められる保育園の姿など把握し確認することができました。少数意見も貴重な意見とし、職員間で話し合い、共通理解することで保護者に満足していただけるように努めていきます。

※保護者の方のアンケート結果は、下記の通りです。(回収率：81%) 整数で四捨五入しています。

	A	B	C	D
① 本園の教育方針を理解している	66	28	6	0
② 子どもさんは、保育園に行くことを楽しみにしている	71	27	2	0
③ 保護者は、安心して保育園に通わせている	87	13		0
④ 保育園は、園児を理解し、園児の育ちを援助している	68	32		0
⑤ 当園の行事(入園時、配布しおり参照)は園児にとって充実した物になっている	66	26	6	2
⑥ 職員に子育てや相談事を気軽にできる	71	23	3	3
A:あてはまる B:大体あてはまる C:あてはまらない D:わからない (%)				

すべての項目で「あてはまる」「だいたいあてはまる」の評価を頂きました。

園の方針をご理解して頂きありがとうございますございました。貴重なご意見、質問も頂きました。



#### 《行事について》

##### ◎未満児の行事が少なすぎる。発表会など何もしなくてもよいので舞台上で衣装を着け立つ姿が見たい。

保育園で、主体的な子どもを育てるためには、子どもが大人にさせられる活動ではなく自らしようと思うことが大事だと思っています。子どもは、「楽しいなあ」「またしたいな」と思うことを何度でも繰り返し行います。日常と違うことさせることは子どもにとって心理的な負担を強いてしまいます。特に大勢の人の前に立つことは早期に必要なことではありません。以上児クラスになってから発表会など少しずつ頑張れるようになって欲しいと考えます。未満児の時期は、毎日同じリズムで生活することが心の安定につながり基本的な生活習慣を身に着ける上で大切なことです。又、遊びの中で自分で工夫したり、やり遂げたり、友達関係の中で多くの学びがあり人格の土台形成をします。保育園で見えない心の学習をすることが当園の保育方針です。

##### ◎DVD視聴ではなく保育参観の機会が欲しい、親が来ることで普段の姿ではなくと思いますが、保育参観や生活発表会は、親も子ども楽しみだと思う

子どもが日常どのように過ごしているのか親にとって気になるころだと思えます。保護者会で映像を通して見る姿は間接的であるし、物足りなさもあることと思えます。一斉に、保護者が保育室に入ることはできません。子どもにとっての日常ではなくなるからです。私たちは子どもにとって大切な遊びの場、時間を保証していくことが安定して生活するために必要なことだと思っています。

保育園は、廊下から保育室が見られるようになっていきます。お迎えの際など早めに来られ、いつでもご覧ください。

#### 《その他》

##### ◎ブログを更新して欲しい

出来るだけ情報発信に努めます。

##### ◎流行っている病気の情報が欲しい。掲示や、メール発信で良いので。

玄関に掲示するなど保育園で出来ることを検討いたします。

##### ◎学園のバスが停車するので駐車できない時がある。

保護者の皆様には大変ご迷惑をお掛け致します。4時20分から40分の間は、学生の乗車を待つ時間になっています。バスの関係者にも連絡を取り少しでも短時間になるようお願いをします。

##### ◎学童保育があると助かります。

卒園してからも保育園に来てくださることはとてもうれしいことだと思います。将来的には分かりませんが、現状では物的人的にとっても厳しい状況ですので学童保育はできません。ご理解をお願いします。

貴重なご意見ありがとうございます。

「安心して預けることが出来ました」「丁寧に保育してもらっている」など本園の方針をご理解していただいた嬉しいご意見も多数いただきました。また、「先生たちのスキルが高い」など日々頑張っている職員にとって一番うれしい言葉をいただきました。保育園の保護者全員にそのように感じていただけるように今回の結果を踏まえて職員一同、日々努めていきたいと思えます。アンケートのご協力ありがとうございました。

苦情相談等は、下記の委員まで(園でも、相談や苦情も受け付けます)

第三者委員

本多 剛 099-222-3188

岩下 吉廣 (今年度を持ちまして辞められます、後任は新年度にお知らせいたします。)